

## 2021年度公益社団法人日本臨床細胞学会事業報告

### 1. 臨床細胞学に関する学術研究の推進並びに学術集会の開催

#### ① 学術集会等を通じた研究・教育の普及および広報

##### 1) 第62回(2021年)春期大会 生水真紀夫大会長

会期：〔現地開催〕2021年6月4日(金)～6日(日)

〔Web開催〕2021年6月18日(金)～7月11日(日)

会場：幕張メッセ・国際展示場8ホール

##### 2) 第60回(2021年)秋期大会 廣岡保明大会長

会期：〔現地開催〕2021年11月20日(土)～21日(日)

〔Web開催〕

一般演題 2021年11月20日(土)～2022年1月13日(木)

指定セッション 2021年12月9日(木)～2022年1月13日(木)

会場：米子コンベンションセンター BIG SHIP・米子市文化ホール

#### ② 班研究活動への助成による学術研究

2021年度の班研究課題を公募し、3題の応募があった。学術委員会選考会にて審議した結果、井上博文氏より応募された「膵癌超音波内視鏡下穿刺吸引生検時の液状細胞診検体を用いたがん遺伝子パネル検査への新たな検体処理法開発と標準化」が採用された。

#### ③ 学会研究活動

「一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診とHPV DNA 検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為化比較研究(CITRUS study)」について継続して研究を行った。

#### ④ 学会賞・技師賞・最優秀論文賞の授与およびその論文発表

学会賞(応募者1名)：川本雅司

技師賞・学術部門(応募者1名)：松本慎二

技師賞・功労部門(応募者1名)：阿部英二

最優秀論文賞(応募者 和文2名・英文11名)：現在選考中である。

### 2. 臨床細胞学に関する教育普及事業

#### ① 講習会およびセミナーの開催

講習会	開催日	開催地・実施委員長
第130回細胞検査士養成講習会	—	開催中止

第46回細胞診断学セミナー	2021年9月9日(木) ～9月27日(月)	Web開催 教育委員会委員長
第81回細胞検査士教育セミナー	2021年8月20日(金) ～9月6日(月)	Web開催 東京医科大学病院 三宅 真司
第82回細胞検査士教育セミナー	開催せず	完全webのため本年度は81回のみ開催
第82回細胞検査士ワークショップ	2021年7月30日(金) ～8月10日(火)	Web開催 兵庫医科大学病院 鳥居 良貴
第83回細胞検査士ワークショップ	2022年3月28日(月) ～4月8日(金)	Web開催 国際医療福祉大学 片山 博徳

3. 臨床細胞学に関する渉外・広報事業

- ① 診療報酬改定に係る活動を行った。
- ② 子宮の日：都道府県にて子宮頸がん検診推進活動を行った。
- ③ ホームページやメールを通じたの広報活動を行った。
- ④ 関連他団体との連携を行った。

4. 臨床細胞学に関する細胞診専門医並びに細胞検査士の資格認定、更新に関する事業

① 細胞診専門医、細胞検査士の資格認定者数、資格更新者数

- 1) 2021年度細胞診専門医
  - ・資格認定者数 161名
  - ・資格更新者数 601名
- 2) 2021年度細胞検査士
  - ・資格認定者数 309名（内学生受験合格者 75名）
  - ・資格更新者数 1664名

② 教育研修指導医の資格認定

- 1) 2021年度教育研修指導医の認定者数 86名
- 2) 2021年度教育研修指導医の資格更新 22名

5. 細胞診断の質を維持、向上させるための施設認定、研修に関する事業

① 細胞診を用いた検診等を実施する団体等への施設認定、細胞診専門医を育成するための教育研修施設認定

- 1) 2021年度施設認定
  - ・新規施設認定 8施設
  - ・総認定施設数 871施設

- ・ 認定資格更新 更新なし
- 2) 2021 年度教育研修施設認定
  - ・ 新規施設認定 4 施設
  - ・ 総認定施設数 332 施設
  - ・ 認定資格更新 17 施設
- ② コントロールサーベイ（外部精度管理）2021 年度実施なし
- 6. その他前条の目的を達成するために必要な事業
  - ① 国際細胞学会（IAC）の資格認定や連携（合同シンポジウムの開催など）
    - 1) 2021 年度 IAC 資格更新 1560 名  
試験は 2021 年度実施無し
    - ② ゲノム診療時代における細胞診のあり方検討ワーキンググループ。  
指針の初版を発出し、現在、英語版の校正を行なっている。並行して実証実験のまとまったものをもとに指針の改訂作業計画を立てている。
    - ③ ゲノム時代における呼吸器細胞診検体処理の精度管理ワーキンググループ。  
ゲノム診療時代における細胞診のあり方検討ワーキンググループの事業に協力し、がんゲノム診療における細胞検体の取扱い指針作成の一部を担当した。また、英文化の作業を進めた。
    - ④ 肺癌細胞診の診断判定基準の見直しワーキンググループ。
      - ・ IAC-WHO(IARC)が進める呼吸器細胞診国際基準の出版に協力した。
      - ・ 日本肺癌学会とともに肺癌取扱い規約の改訂に協力した。
      - ・ 構造異型の所見の標準化を目指し、細胞所見の WEB 公開を目指しパブリックコメントを募集した。
      - ・ 本 WG において新たな 4 段階の判定基準を提案し、追加検討した結果が *Acta Cytologica* に採用となった。(Yoshizawa A et al. *Cytology reporting system for lung cancer from the Japan Lung Cancer Society and the Japanese Society of Clinical Cytology: Extensive study containing more benign lesions*)
    - ⑤ IAC Yokohama System 乳腺細胞診ワーキンググループ。
    - ⑥ 細胞診ガイドライン改訂ワーキンググループ。
      - ・ 委員の施設から 1,727 病変のデータを収集し、分析を行った。
      - ・ 結果について検討し、引き続き協議中である。
    - ⑦ 地域連携の活動。
    - ⑧ 国際交流事業（日韓、日中、日タイ、日米との共催事業、豪州との人事交流、カンボジアへの支援を実施）→中止
    - ⑨ 臨床試験（CITRUS study など）の遂行。
    - ⑩ デジタルサイロロジー・AI 検討ワーキンググループの設置。
    - ⑪ 公益社団法人化 10 周年記念事業検討ワーキンググループの設置。